

F ★★★★

無鉛

# ソルエポ90 ソルエポ抗菌

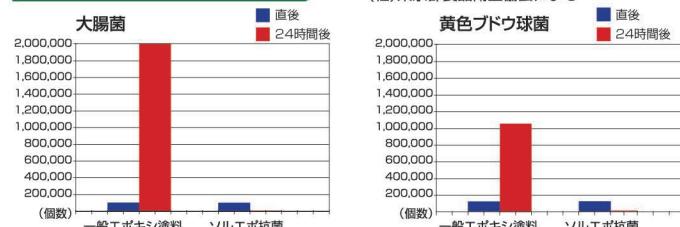
2液カラーエポキシ薄膜床用塗料

乾燥性			
ソルエポ90・ソルエポ抗菌共通			
温 度	10°C	23°C	30°C
可 使 時 間	6時間	5時間	4時間
上 塗 り 可 能 時 間	7~48時間	5~48時間	5~48時間
歩 行 可 能 時 間	18時間以上	12時間以上	12時間以上
重 作 業 可 能 時 間	48時間以上	24時間以上	24時間以上

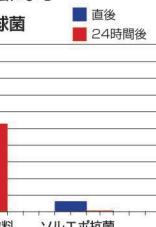
※乾燥時間は施工環境により多少前後しますのでご注意下さい。

性状・物性			
ソルエポ90・ソルエポ抗菌共通			
試験項目	試験結果	試験条件	
外観 A液	着色粘稠液		
B液	淡褐色粘稠液		
引っかき硬度	3H	JIS K 5600鉛筆法	
摩耗質量	49mg	JIS K 7204 テーパー式摩耗試験機 CS-17 9.8N 回転数1000回	
鏡面光沢度	85	JIS K 5600 入射角60度	
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1	

## 抗菌性試験



抗菌効果試験(フィルム密着法)  
(社)東京都食品衛生協会による



## 施工上のご注意・メンテナンス

### ■施工上のご注意■

- 事前に下地調整を必ず行って下さい。下地はコンクリート・モルタルのエフロレッセンス(白華)、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に取り除いて下さい。また、新設コンクリート・モルタルの表面には、レイターンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレイターンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットしてフローンエボバテなどを充填し、亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。
- 旧塗膜がある場合は、当社にご相談下さい。
- ソルエポ90・ソルエポ抗菌は、2液反応硬化型ですから、可使時間に制限があります。施工時の温度、施工面積、作業人員等を考慮して、無駄のないように材料を配合して下さい。
- ご使用になる環境を充分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。

ソルエポ90・ソルエポ抗菌共通

- 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
- 気温5°C以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。
 

10°C以下	硬化後退 (カブリ、シワ、軟化等発生)
15~25°C	最適
30°C以上	硬化促進 (ボットライフ短縮)
- 常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。
- 施工時は引火、爆発、中毒等の事故防止のため、充分に換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ・手袋等、保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないよう充分に注意して下さい。もし触れた場合はウエス等で充分に拭き取り中性洗剤で洗って下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、充分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので施工時及び施工後の換気を充分に行って下さい。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。容器、塗装具などを洗浄した污水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがありますので排水処理場などの施設に持ち込みか、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

### ■メンテナンス■

- 日常の清掃は、毛先の柔らかい「ほうき」でホコリを取り、乾いたモップで拭いて下さい。出入口には、防塵マットを敷いて下さい。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してモップで水洗いして下さい。乾いたモップで水をよく拭き取り、水分を残さないで下さい。
- アルカリ、酸、薬品、油等が床にこぼれた場合、ウエス等で拭き取り、モップで水洗いして下さい。乾いたモップで水をよく拭き取り、水分を残さないで下さい。
- 化学工場などでは、毎日水洗いし化学物質の蓄積を防いで下さい。
- 月1回程度のワックスかけをしていただければ、美しさをより長く維持していただけます。

引火性あり	警 告	有害性あり	感作性あり
	1.引火性の液体である。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.健前に有害な物質を含有している。 4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。	5.変異原性の恐れがある。 6.発癌性の恐れがある物質を含有している。	
<b>業 務 用</b>			
《注意事項》 1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)			※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●お問い合わせは・・

東日本塗料株式会社



本 社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
埼 玉 工 場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.048(65)1515(代) FAX.048(65)1518  
仙 台 営 業 所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
新潟 営 業 所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
静岡 営 業 所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

東日本塗料

## エポキシ薄膜床用塗料

# ソルエポ90 ソルエポ抗菌

美しく清潔な環境を求める床に

ソルエポ90は2液溶剤型エポキシ薄膜床用塗料です。

耐油、耐薬品性、耐摩耗性に優れ、長期にわたり、発塵を防ぎます。  
ローラー施工のため、広い面積でも短時間で簡単に施工できます。

### 特長

<b>耐薬品性・耐油性</b>	エポキシ樹脂の特性により耐溶剤・耐酸・耐アルカリ・耐油性に非常に優れています。
<b>密着性・耐摩耗性</b>	コンクリート・モルタル面と強力に密着し、優れた耐摩耗性で床面を保護します。
<b>防塵性</b>	コンクリート・モルタルの劣化や発塵、外部からの汚れやホコリの付着を防ぎます。
<b>美装性</b>	生産効率を高め、事故防止、機械保全、品質管理に効果を発揮します。
<b>抗菌性</b>	ソルエポ抗菌使用。有害な微生物から建物を守ります。

### 用途

内部モルタル・コンクリート床面用	
● 工場	● 廊下・階段
● 倉庫	● 駐車場
● 研究室	● 配送センター

### 色相

#### 常備色(6色)

- A-1/マスカットグリーン
- A-2/エメラルドグリーン
- A-3/フレッシュグリーン
- A-4/フォックスグレー
- A-5/サンドベージュ
- A-6/スカーレットブラウン

※色相はフローン床材共通色見本帳をご参照下さい。

※ソルエポ抗菌はすべて受注生産

#### 標準色(15色)

※受注生産

#### 指定色

※イエロー・赤系等の明度及び彩度の高い色を塗装する場合は、上塗り工程1層目に共色(調色品:白=1:1混合品)の塗装をおすすめします。また、充分な仕上りを得るために、塗り重ね回数が多くなる場合がありますので、ご注意下さい。

同一製品でも生産ロットが異なると、常備色・調色品共に色が異なる場合があります。特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合、仕上りに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット、同一方法で、見切りの良いところまで仕上げてください。

### 容量・配合比・塗装面積

品名	容量			配合比(重量比) A液 B液 セット	標準塗装面積
	A液	B液	セット		
ソルエポ90	15kg	3kg	18kg	5 1	0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回塗りで60m <sup>2</sup>
	5kg	1kg	6kg		0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回塗りで20m <sup>2</sup>
ソルエポシンナー	16ℓ			希釈割合 30%	18kgセットに対し5kg
	4ℓ				6kgセットに対し2kg

### 標準工法

ソルエポ抗菌(※各工法のソルエポ90をソルエポ抗菌にかえてご使用下さい。)

工法名	工程	材料名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	上塗可能時間 (23℃)	備考
1 SEコーティング工法 (総合塗膜厚0.2mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1,3,5	0.2	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.15 0.05	5~48時間	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、ソルエポシンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.15 0.05	12時間以上 (軽歩行開放時間)	
2 SE防滑工法 (総合塗膜厚1.2mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1,3,5	0.2	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.15 0.05	直後	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、ソルエポシンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	フローン珪砂6号 又は7号(追吹付)	0.3	12~24時間	工程2の直後、リシンガン(口径3mm~4mmΦ)にてフローン珪砂6号又は7号を散布。硬化後、余剰なフローン珪砂を除去。
	5	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.2 0.06	5~48時間	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、ソルエポシンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	6	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.2 0.06	12時間以上 (軽歩行開放時間)	
3 SEプラチップ仕上 (総合塗膜厚0.9mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1,3,5	0.2	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	ソルエポ90 ソルエポシンナー フローンプラチップ ※2	0.15 0.05 0.0075	5~48時間	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌したソルエポ90を1に対し、フローンプラチップを5%計量、混合し、ソルエポシンナーで30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	ソルエポ90 ソルエポシンナー フローンプラチップ ※2	0.15 0.05 0.0075	12時間以上 (軽歩行開放時間)	
4 SE-OLコーティング工法 (総合塗膜厚0.3mm)	1	床面の確認	—	—	油泥がある場合は、除去。
	2	フローン 油面用プライマー ※4	—	2日以上	希釈液をモップに含ませ、床面に塗り広げ、約5分間放置し、その後ボリッシャーまたは、デッキブラシで充分洗浄する。汚水油泥は、スクイジーで取り除き、再度床面を温水か水で洗浄、乾燥させる。洗浄工程は2回以上行う。
	3	フローン 油面用プライマー	0.2	3~24時間	
	4	フローン 油面用プライマー	0.2	3~24時間	主剤とパウダーを混合、電動攪拌機にて攪拌後、促進剤を添加し、更に電動攪拌機にて攪拌し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	5	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.15 0.05	5~48時間	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、ソルエポシンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	6	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.15 0.05	12時間以上 (軽歩行開放時間)	

※1 吸い込みムラがある箇所はもう1回以上塗布して下さい。

※2 フローンプラチップLを用いたローラー工法では、フローンプラチップLを均一に仕上げるため、必ずローラーネットを用いて施工して下さい。

※3 繊密なコンクリートの場合は剥離の可能性があるため、フローンエコプラ速乾での密着試験を推奨いたします。

※4 汚染状態により希釈倍率、使用量が変わります。詳細はフローンオイルクリーナーカタログをご参照下さい。

※5 新設コンクリート面など、通気の影響でフクレの発生が想定される場合、混合したフローンプライマーHを1に対し、フローンパウダーを0.5(重量比)の割合で混合、塗布することで抑制することが出来ます。